

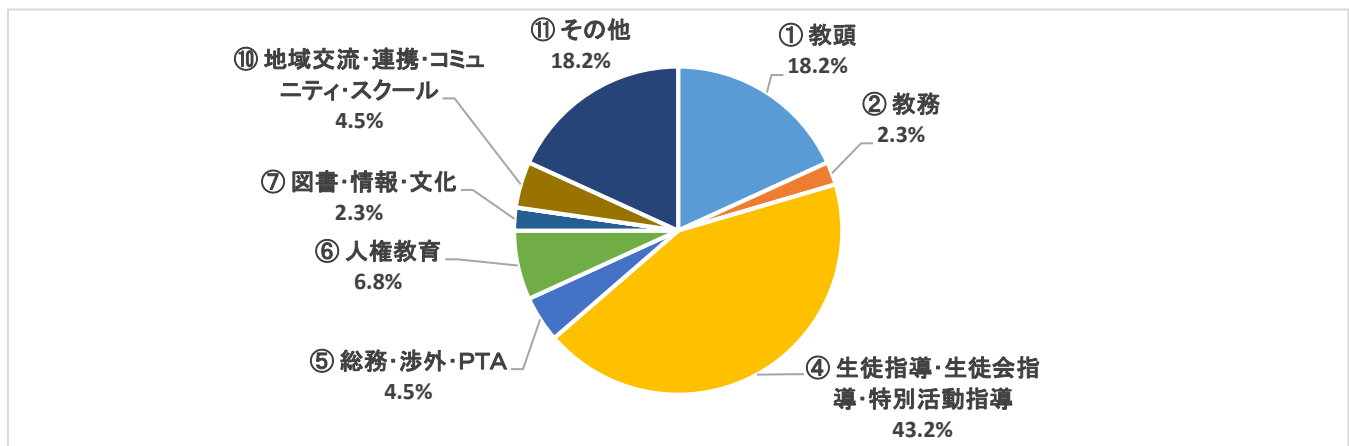
アンケート

※ 以下の集約において、「(44校中)」に示す数値は、複数回答可の質問において、それぞれ該当する旨の回答をした学校の割合である。

問1：本事業の主担当者の役職・校務分掌等を1つ選択してください。

① 教頭	18.2%
② 教務	2.3%
③ 進路指導・キャリア教育	0.0%
④ 生徒指導・生徒会指導・特別活動指導	43.2%
⑤ 総務・渉外・PTA	4.5%
⑥ 人権教育	6.8%
⑦ 図書・情報・文化	2.3%
⑧ 保健体育	0.0%
⑨ 環境整備・美化	0.0%
⑩ 地域交流・連携・コミュニティ・スクール	4.5%
⑪ その他	18.2%

主担当者のうち19名43.2%（昨年度40.9%、+2.3）が④生徒指導・生徒会指導・特別活動指導担当者である。①教頭は8名18.2%（昨年度18.2%）である。⑪その他は広報・学部主事・専門教科担当など計8名18.2%である。



問2：本事業及び「地域と共にある学校づくり」全般（以降「全般」）において、どのような取組をしましたか。あてはまるもの全てを選択してください。

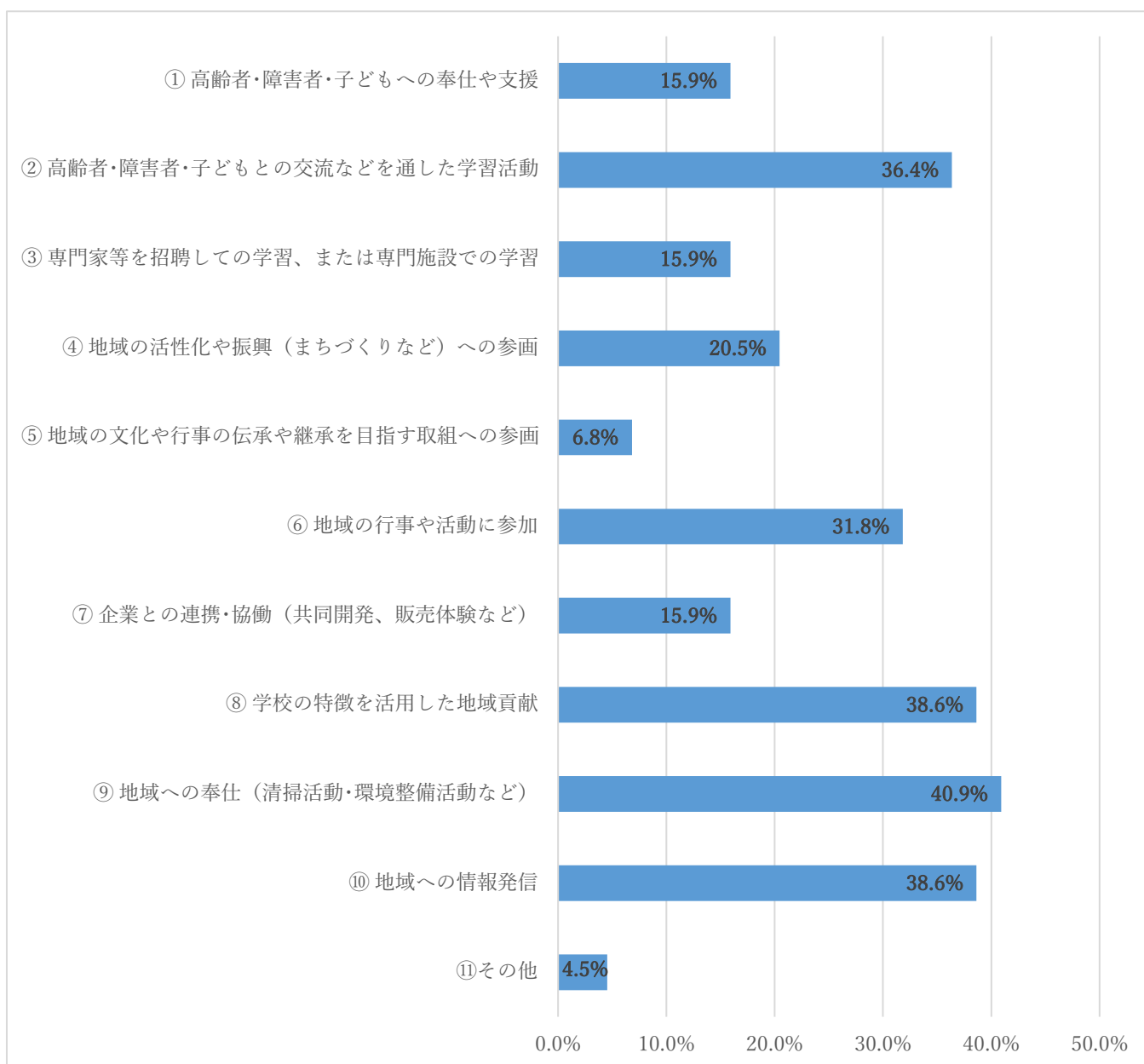
	本事業	全般
① 高齢者・障害者・子どもへの奉仕や支援	15.9%	25.0%
② 高齢者・障害者・子どもとの交流などを通じた学習活動	36.4%	47.7%
③ 専門家等を招聘しての学習、または専門施設での学習	15.9%	22.7%
④ 地域の活性化や振興（まちづくりなど）への参画	20.5%	25.0%
⑤ 地域の文化や行事の伝承や継承を目指す取組への参画	6.8%	9.1%
⑥ 地域の行事や活動に参加	31.8%	40.9%
⑦ 企業との連携・協働（共同開発、販売体験など）	15.9%	13.6%
⑧ 学校の特徴を活用した地域貢献	38.6%	45.5%
⑨ 地域への奉仕（清掃活動・環境整備活動など）	40.9%	54.5%
⑩ 地域への情報発信	38.6%	38.6%
⑪ その他	4.5%	9.1%

(44校中)

(44校中)

⑨地域への奉仕の割合が高く、次に、⑧学校の特徴を活用した地域貢献、⑩地域への情報発信、②高齢者・障害者・子どもとの交流などを通じた学習活動など、多様な活動が行われていることがうかがえる。

「地域に資する人材育成」の観点では、④地域の活性化や振興への参画、⑤地域文化等に関する取組、⑦企業との連携・協働に生徒が参画することも重要である。これらは、昨年度それぞれ、④1.5倍、⑤2.5倍、⑦では、2.0倍と、一昨年前より増加していたが、本年度は減少しており、コロナ禍で協働相手との連携が難しかったとうかがえる。また、⑥地域の行事や活動に参加についても行事等の自粛により活動ができなかったと思われる。その中で、⑦企業との連携・協働に生徒が参画する部分においては、15.9%（昨年度 14.0%, +1.9）となっている。



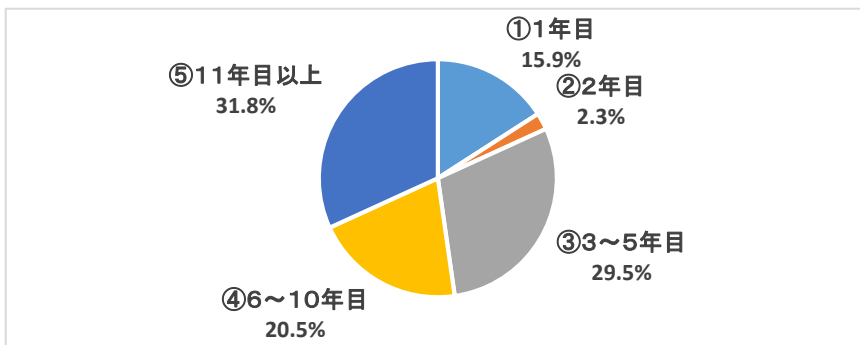
問3：本事業及び「全般」の取組は、年間、のべ何日活動を実施しましたか。

	計(日)	平均(日)
本事業	1,686	38.3
全般	2,016	45.8

問4：本事業で実施した取組は、始めて何年目になりますか。あてはまるものを1つ選択してください。

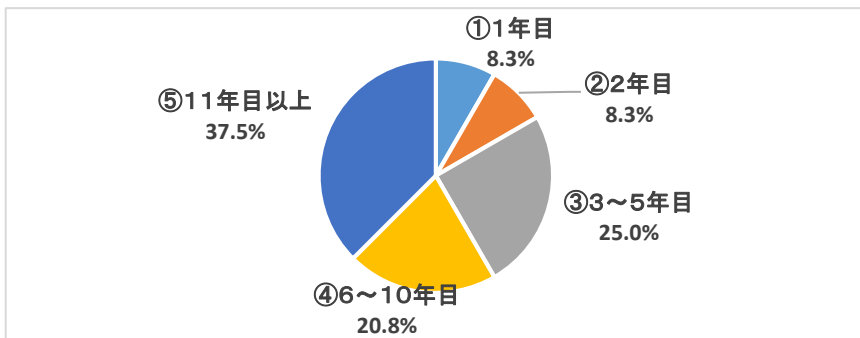
取組 1

① 1年目	15.9%
② 2年目	2.3%
③ 3～5年目	29.5%
④ 6～10年目	20.5%
⑤ 11年目以上	31.8%



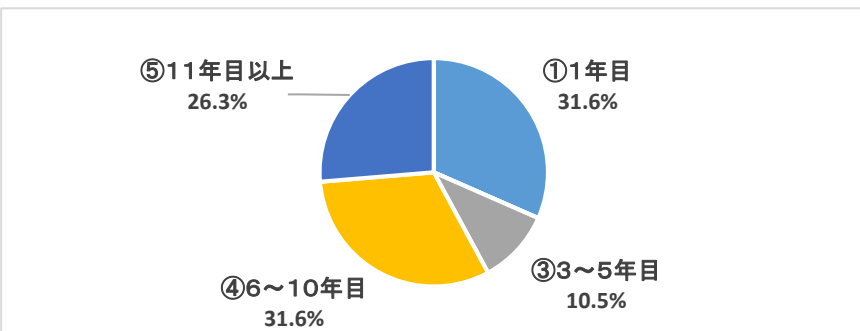
取組 2

① 1年目	8.3%
② 2年目	8.3%
③ 3～5年目	25.0%
④ 6～10年目	20.8%
⑤ 11年目以上	37.5%



取組 3

① 1年目	31.6%
② 2年目	0.0%
③ 3～5年目	10.5%
④ 6～10年目	31.6%
⑤ 11年目以上	26.3%

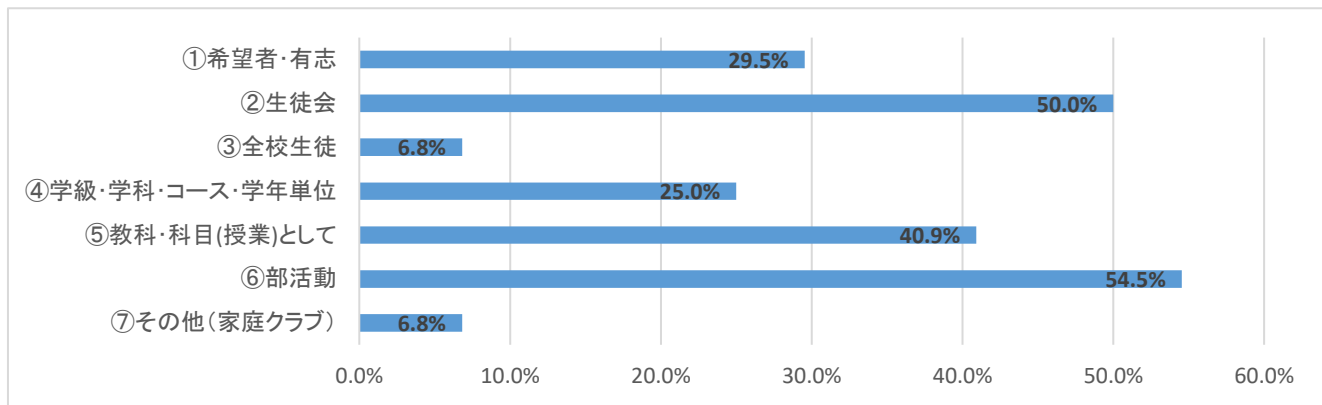


取組を長年にわたり実施している学校が多い。地域とのこれまでのつながりを大切にし、継続的な取組が実施されている。

問5：本事業及び「全般」の取組に関わっている生徒の立場は、次のどれに当たりますか。あてはまるものを全て選択してください。

	本事業	全般
① 希望者・有志	29.5%	45.5%
② 生徒会	50.0%	65.9%
③ 全校生徒	6.8%	18.2%
④ 学級・学科・コース・学年単位	25.0%	38.6%
⑤ 教科・科目(授業)として	40.9%	43.2%
⑥ 部活動	54.5%	61.4%
⑦ その他(家庭クラブ)	6.8%	9.1%
	(44校中)	(44校中)

半数を超える学校で②生徒会、⑥部活動がこの取組に関わっており、学校の強みを活かして地域とつながっていることがうかがえる。一方で、本事業を含む取組全般で、④学級・学科・コース・学年、⑤教科・科目のように「教育課程の一環」として行っている取組がそれぞれ25.0%、40.9%となっている。「社会に開かれた教育課程の実現」のためにも、この視点での取組を一層充実させていきたい。



問6：本事業及び「全般」の取組に関わった生徒数を、「のべ人数」でお答えください。

	計(人)	平均(人)
本事業	6,164	140.1
全般	9,969	226.6

問7：本事業の取組を通して、生徒にどのような力や意識が身に付くことを期待しましたか。あてはまるものを全て選択してください。

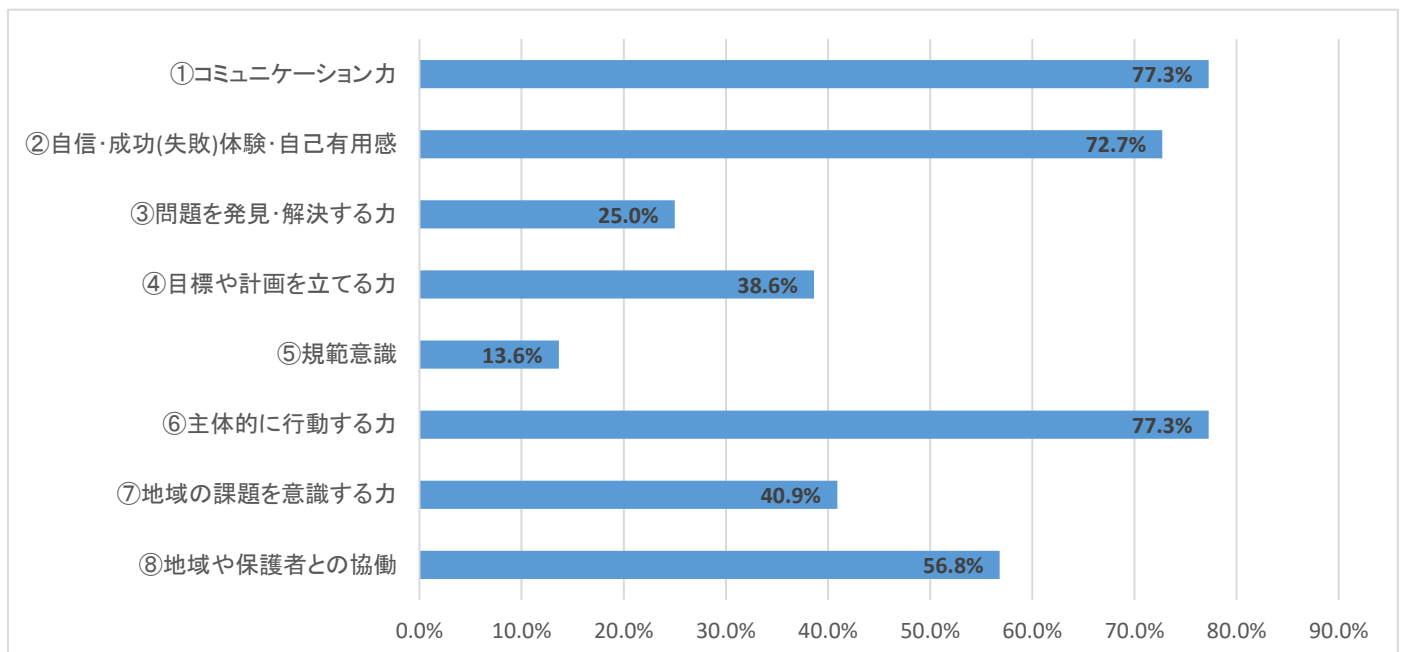
① コミュニケーション力	77.3%
② 自信・成功(失敗)体験・自己有用感	72.7%
③ 問題を発見・解決する力	25.0%
④ 目標や計画を立てる力	38.6%
⑤ 規範意識	13.6%
⑥ 主体的に行動する力	77.3%
⑦ 地域の課題を意識すること	40.9%
⑧ 地域や保護者の評価を高めること	56.8%
⑨ その他	0.0%

(44校中)

①コミュニケーション力が77.3%、②自己有用感が72.7%、⑥主体的に行動する力が77.3%となっており、多くの学校が目標(ねらい)として挙げている。

⑧地域や保護者の評価を高めることについては、56.8%(昨年度27.9%, +28.9)と上昇している。

「地域と共にある学校づくり」を進める上で、どのような生徒を育成するのか、目標を明確化し、地域と共有することはとても重要な事項である。今後も学校と地域が目標や課題、ビジョンを共有し、取組を進めることを大切にしていきたい。

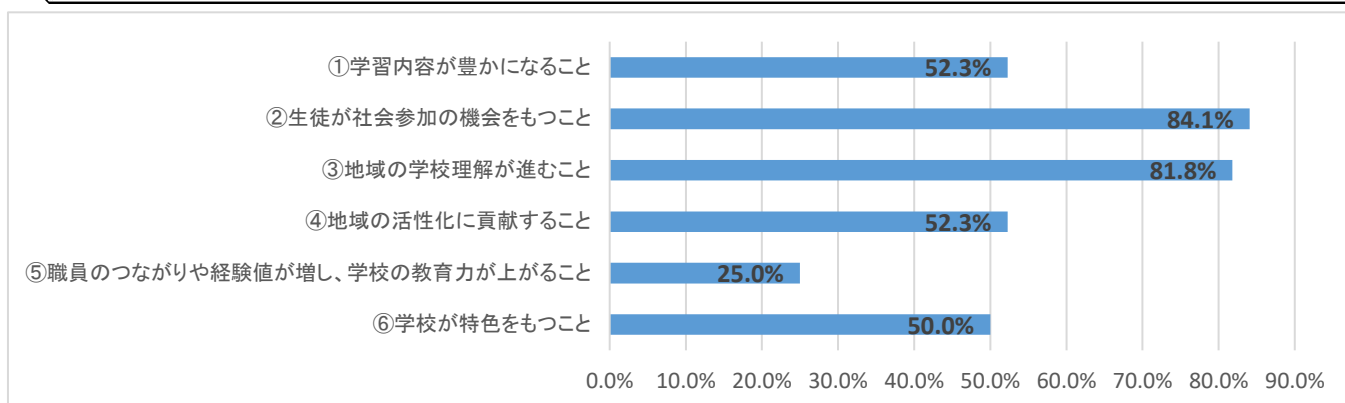


問 8 : 本事業の「やりがい」は何だと思いますか。あてはまるものを全て選択してください。

① 学習内容が豊かになること	52.3%
② 生徒が社会参加の機会をもつこと	84.1%
③ 地域の学校理解が進むこと	81.8%
④ 地域の活性化に貢献すること	52.3%
⑤ 職員のつながりや経験値が増し、学校の教育力が上がる	25.0%
⑥ 学校が特色をもつこと	50.0%
⑦ やりがいは感じていない	0%
⑧ その他	0%

(44校中)

多くの学校が、②生徒が社会参加の機会をもつこと 84.1% (昨年度 93.0%, +8.9)、③地域の学校理解が進むこと 81.8% (昨年度 76.7%, +5.1) をやりがいと捉えている。また、①学習内容が豊かになることが 52.3% 昨年度と比べると (昨年度 41.9%, +10.4) と増加している。

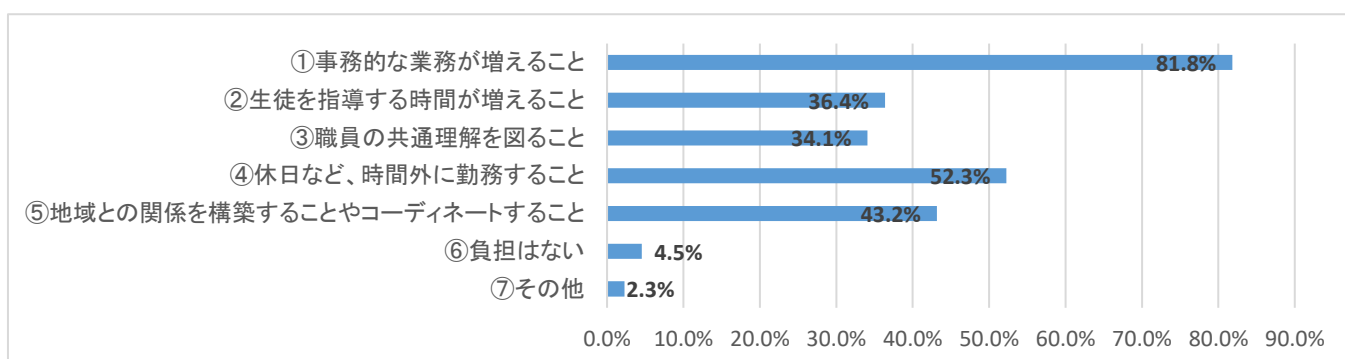


問 9 : 本事業の「負担」があるとすれば、それは何ですか。あてはまるものを全て選択してください。

① 事務的な業務が増えること	81.8%
② 生徒を指導する時間が増えること	36.4%
③ 職員の共通理解を図ること	34.1%
④ 休日など、時間外に勤務すること	52.3%
⑤ 地域との関係構築（維持）やコーディネート	43.2%
⑥ 負担はない	4.5%
⑦ その他	2.3%

(44校中)

⑥で負担はないという回答は、4.5%であり、この取組に負担を感じている担当者が多いことを示している。その中で、①事務的業務の増 81.8% (昨年度 86.0%, -4.2) 及び④休日・時間外勤務 52.3% (昨年度 58.1%, -5.8) については、働き方に関わるものであり、教職員間の連携・共通理解等をおして負担の軽減または解消を図る必要がある。

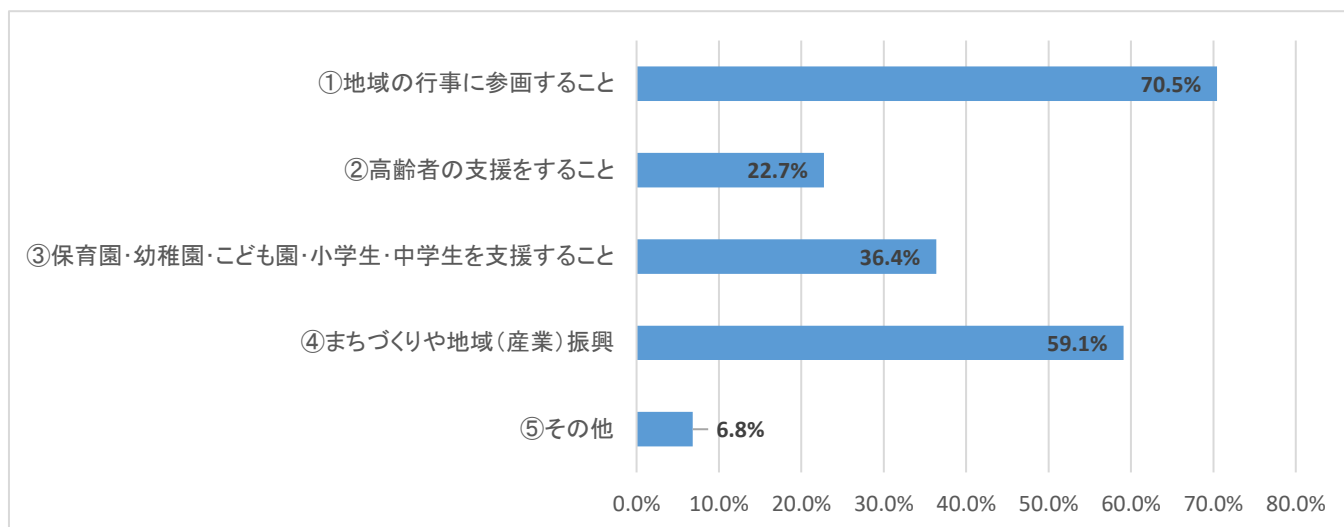


問10：地域が学校に寄せている「期待」は何であると感じていますか。あてはまるものを全て選択してください。

① 地域の行事に参加すること	70.5%
② 高齢者の支援をすること	22.7%
③ 保育園・幼稚園・こども園・小学生・中学生を支援すること	36.4%
④ まちづくりや地域（産業）振興	59.1%
⑤ その他	6.8%

(44校中)

70.5%の学校が①地域行事参加・参画に、また59.1%の学校が④まちづくり・地域振興に期待を感じていると回答している。これらは、生徒が地域課題を意識することの大切さを学校が認識し、かつ地域を「学びのフィールド」と捉えている現れであると思われる。

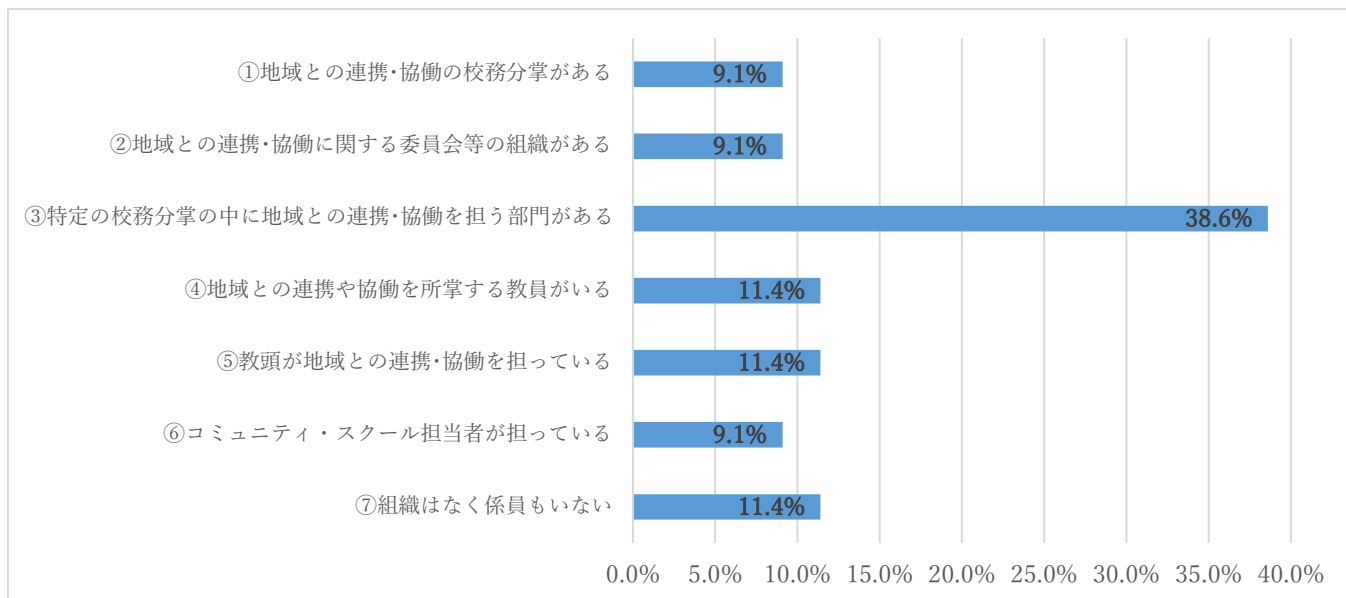


問11：「地域と共にある学校づくり」（本事業やコミュニティ・スクールを含む）を担当する組織は、校内組織に位置づけられていますか。（1つ選択）

① 地域との連携・協働の校務分掌がある	9.1%
② 地域との連携・協働に関する委員会等の組織がある	9.1%
③ 特定の校務分掌の中に地域との連携・協働を担う部門がある	38.6%
④ 地域との連携や協働を所掌する教員がいる	11.4%
⑤ 教頭が地域との連携・協働を担っている	11.4%
⑥ コミュニティ・スクール担当者が担っている	9.1%
⑦ 組織はなく係員もいない	11.4%

地域との連携・協働を所掌する①校務分掌や②委員会等、③部門など地域との連携・協働を組織に位置づけている学校が56.8%（昨年度52.7%、+3.1%）、⑦組織はなく係員もいないとする学校が11.4%（昨年度11.4%）である。少しずつではあるが、組織的に取り組む学校が増えてきている。また、コミュニティ・スクール担当者が担っている割合は9.1%（昨年度0.0%、+9.1%）となっている。

組織的・継続的な取組を実現していくためには、学校運営協議会設置をはじめ、「地域と共にある学校づくり」を所掌する組織を校内に位置付けることが大切である。



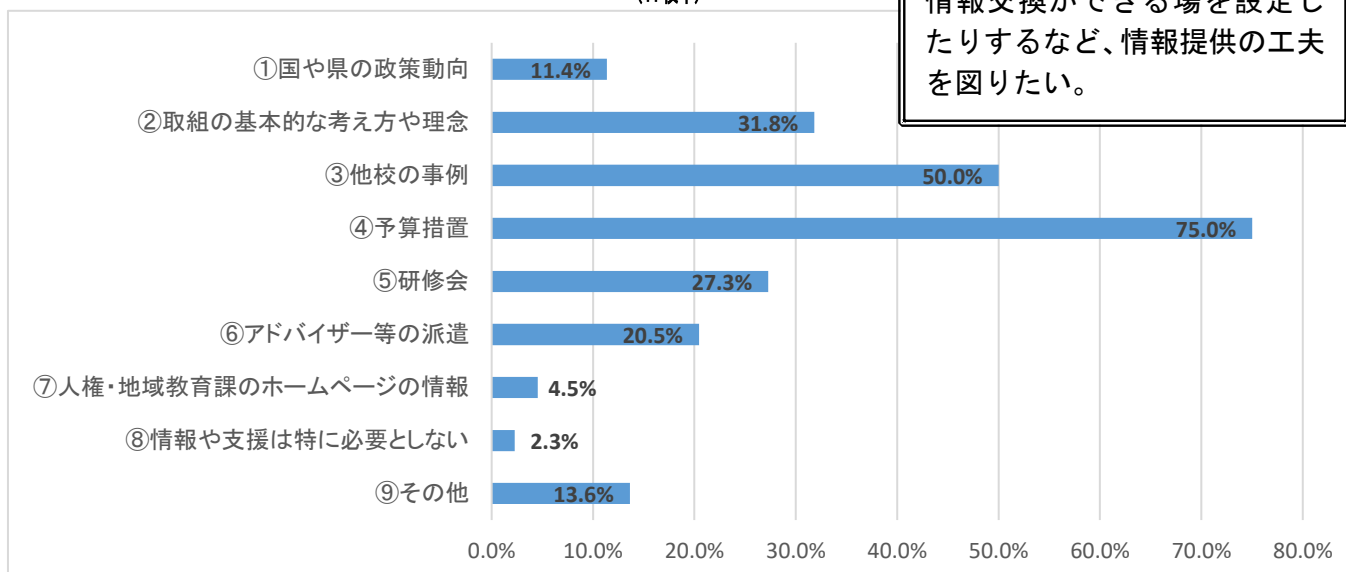
問12：「地域と共にある学校づくり」（本事業やコミュニティ・スクールを含む）の取組を一層推進するために必要だと思われる情報や支援は何であると考えますか。あてはまるもの全てを選択してください。

① 国や県の政策動向	11.4%
② 取組の基本的な考え方や理念	31.8%
③ 他校の事例	50.0%
④ 予算措置	75.0%
⑤ 研修会	27.3%
⑥ アドバイザー等の派遣	20.5%
⑦ 人権・地域教育課のホームページ	4.5%
⑧ 情報や支援は特に必要としない	2.3%
⑧ その他	13.6%

(44校中)

④予算措置に続き、多くの学校が②考え方・理念③他校の事例⑤研修会を必要な情報としている。

県教育委員会としては、限られた予算の中で基本的な考え方や理念に沿った取組が行えるように、研修会等において先進校の事例を紹介したり、取組の情報交換ができる場を設定したりするなど、情報提供の工夫を図りたい。



：本事業に参加・参画した感想を書いてください。【抜粋】

<p>参加のきっかけは自分たちの知識や技能を地域の方たちに知ってもらいたいと思ったからです。取組を通して、自分たちで判断し、コミュニケーションをとりながら、協力して作業をする力がついた。今後も、人の役に立つものを考えたり、作ったりしていきたい。</p>
<p>地域創生コースへの入学をきっかけとして、たくさんのボランティア活動に参加するようになった。最初は半ば強制的に参加させられていたが、だんだんと積極的に参加するようになり、ボランティアに参加する主体性やコミュニケーション能力が身についた。今後も引き続きボランティア活動に参加したいと思っている。この経験を大学での研究活動に活かすとともに、将来の職業選択にも活かしていきたいと思っている。</p>
<p>「奈良大文字山焼きポスター」応募について。今回、この企画に参加したのは、コロナウイルス感染拡大防止のための在宅教育中の課題だったからです。学校のすぐ近くの高円山でおこなわれる山焼きの行事ということもあって、とても興味深い課題でした。今回、この企画を通して身についたと思う力は、人に伝わるものをつくるという視点でした。今までは、自分が描きたいものを描くという気持ちが強かったのですが、今回わかりやすいポスターとして作成するために、いかにシンプルにまとめるかということに重点を置きました。特に観光振興のポスターなので、奈良県以外の人にもわかるようにこころがけました。今回、すぐ身近な地域の行事をテーマにポスターの制作をできたことは、作品をつくる上でも強く関心を寄せられたので、今後も自分の住む地域に関わるデザインなどに取り組めたらと思います。</p>
<p>新型コロナ感染症の流行により、大人数での行事を行うことが難しかったですが、やっと学年や地域の皆さんも交えて秋風のコンサートを開催することができ、とても嬉しかったです。</p> <p>私は国際高校の初代生徒会役員として秋風のコンサートの運営をさせて頂きました。やはり大きな行事というものは一人や少数の力での実現は、なかなか難しいものだと感じ、沢山の方々の支えあってできることだと改めて思いました。</p> <p>運営するなかで、同じ目標に向かって行動している方と意見を出し合ったり、出来ることから積極的に行動をしたりと、周り協力しあい、率先して行動する意識を更に持つことが出来たと思います。今後も、秋風のコンサートを通して感じたことや意識したことを忘れずに、多くの方々が楽しめ、盛り上がる事が出来、地域の方々とも触れ合えるような行事をつくっていくことができれば良いなと思います。</p>
<p>委員会活動に参加する形で参加しました。はじめは、与えられた仕事をしているだけという意識でしたが、集められるゴミの量を見てみると、いろいろと考えさせられるものがありました。ゴミ集めをすることで、社会に貢献しているのではという意識も生まれました。これからもこの気持ちを大切に、地域の中での自分の生き方を考えていきたいです。</p>
<p>今年度はコロナ禍の影響で、地域の行事への参加もできず、本校の文化祭も中止となり地域の方と交流し、学校を知っていただく機会がなかった。そのような状況の中で、何かできないかと思った。実施するにあたり密を防ぎ、接触を避けながらも楽しんでもらえることを考え、目で見て楽しんでもらえるようアンブレラスカイを作ってもなしの心を伝えた。また、コンサートも感染予防を考え工夫して実施した。今回は、いろんな意味で制約があったが、みんなで協働して取り組むことで問題を解決しながら取り組むことができ、自信に繋がった。できれば、地域の方と一緒にできることを話し合いながら考えていきたい。</p>
<p>清掃活動というものを身近に感じていたつもりであったが、地域の方々との共通箇所を清掃することで、落ちている葉は水分を含み重たく、とても滑りやすく危ないこと。また、多くのゴミがたばこのポイ捨てによるものであることを改めて知ることとなりました。</p>
<p>地域の活性化に貢献したいという気持ちから実行委員会に参加しましたが、今回の活動を通して、地域の方々とのコミュニケーションを取る機会が多くあり、これから社会人となる自分にとっても成長できる良い機会となりました。また、地域の方々が灯笼やイルミネーションをみて、笑顔になって下さったことは非常に大きなやりがいを感じる事ができました。</p>
<p>人前で話すことが苦手ですが、9月から何度も練習して、先輩や後輩と一緒にすることで、緊張しましたが少しずつしゃべることができました。来年は、地域の方にも喜んでいただけるようにしっかり練習したいと思います。</p>
<p>活動に興味があり、先生からも勧められたから。地域の方と直接話す機会が多く、コミュニケーション力をより身につけたいと思った。また、活動を通し達成感があり楽しかった。今後も積極的に地域に関わっていきたい。</p>
<p>参加したきっかけは、元々本を読むことが好きで、書店で活動するという事に興味をもったからです。活動内容は、書店クラブのメンバーで話し合って決めるので、自主性や協調性が身に付きました。また、書店の方と関わる機会も多いので、コミュニケーション能力も以前より向上しました。特に、新聞等の取材を受けたり、活動内容を発表したりする機会を通して、自分の考えを深め、相手に分かりやすく伝える力は、将来社会人になったときに役に立つと思います。今までは、地域の人々との交流を特に意識して活動してきましたが、今後はインターネット等も活用して、より多くの人にこの活動を知ってもらえるようにしていきたいと思っています。</p>
<p>課題研究の授業を通して、地域での販売実習に参加しました。地域には高齢者の方々が多く住まれていることから、高齢者世代のニーズを考えながら、実習の準備を進めていきました。その中で、地域から求められていることなどの意見を友達と出しました。そのことから、他者の意見に耳を傾けと協調性を身につけることができ、自分の成長に繋がる経験ができました。この経験を通して、さらなる成長を遂げていきたいと考えています。</p>
<p>こども園防災教育について、将来的に南海トラフ地震が発生すると予測されていることから、地域の方々の「命を守る」活動をしたかった。企画などグループの活動によって、強調性やコミュニケーション力が身についた。こどもたちにウイルス感染を防止するための生活習慣を教える活動で体験した事を活かして、こどもや高齢者をサポートし、社会に貢献したい。</p>

<p>コロナ禍のなか、少人数とはいえ高校生を受け入れてくれてとても嬉しかった。私は将来保育士になりたいという希望があり進学もその予定である。私たちが準備していった内容は、まだまだ不十分で、工夫しなければならないと感じたことも多かった。しかし、子どもたちはとても喜んでくれて、自分たちを癒やしてくれた。このような「つどいの広場」は、子どもたちだけでなく、保護者の方ともお話しできて、育児の楽しさや難しさを直接聞くことが出来た。また、保護者の人たちにとっても、このつどいの広場は情報交換の場になっていることがわかった。各市町村で、このような子育て支援事業があることを知り、自分が親になったとき、また保育士として保護者から相談されたときに紹介できると思った。参加出来なかった友達にもこの経験を教えていきたいと思う。</p>
<p>今回「クリーン作戦」に参加して、周りのことをしっかり見る力がついたと思います。普段登校しているときには気づけていなかったゴミの量やポイ捨てされていることに、清掃活動によって気づけたからです。ポイ捨ては、犯罪行為なので絶対しないよう心がけ、している人がいたら注意できるようになりたいです。</p> <p>清掃活動をして、ゴミ拾いをすれば町がきれいになるし、心もきれいになりました。自分が住んでいる町でも普段からきれいにすることを心がけ、このような活動があれば積極的に参加したいと思います。</p>
<p>レスリングを初めてする子どもが多いので、簡単なことでも丁寧に教えるようにしている。子ども達が怪我をしないように、周りを見ながら子ども達を指導出来るようになった。</p> <p>最近、レスリングも有名になってきているが、まだまだマイナー競技なので、もっと知ってもらえるように子ども達の教室を盛んにしたい。</p>
<p>私の将来の夢は保育士なので、ここで経験した、子どもたちに楽しくて興味もてる運動を考え、子ども達の成長につながる指導が出来るようにしたい。</p>
<p>今年は新型コロナウイルス感染症対策で中止になったが、この事業に参加してボランティアの大切さを学んだ吹奏楽部の取組として、介護施設や保育園への訪問演奏を実施してきた。訪問演奏を通して、社会参加の大切さを実感してきた。又、地域との連携・協働を積極的に行ってきた。今後はコロナ禍においても活動できるように、工夫していきたい。</p>
<p>地域の人々から感謝の言葉をいただき、コミュニケーションできたことが良かった。製作・栽培し、寄贈したものが、地域で役立ち、喜ばれ、大切にされるのが、自分たちの喜びや自信になった。</p>
<p>いろいろな人行灯作品を観てもらうことができてとても良かった。また灯り展での会場の受付や地域の方との交流を通してコミュニケーション能力が付いたように思う。来場者への挨拶や体調チェック、様々なお話しをさせてもらい、今後も接客業に就いたとしたらそこの経験を活かすことが出来ると思った。</p>
<p>地域ふれあい文化祭に演劇部が公演し参加した。地域の方々に学校のことを知ってもらえた。登下校途中で声をかけられることもある。地域への啓発は大事だと思う。今後も地域と関われる行事を計画し社会参加活動を継続したい。近隣地域である明日香村の歴史に興味をもち、理解を深めたいと思ったから参加した。古代衣装を着る経験によって、飛鳥時代についての理解が深まった。</p>
<p>私は、保育園や幼稚園の園児のみなさんとリモートを通しての交流で、紙芝居をしました。2年生の時に先輩方がお話し会の発表をしているのを見て、自分も3年になったらやってみたくて思っていました。今回は、コロナウィルス感染症のことで、直接会っての交流はできませんでしたが、リモート画面を通して紙芝居を見た園児のみなさんが喜んでる様子を見ることができて良かったです。</p>
<p>しごとの農場班では、1、2年生の時は、地域のボランティアさんと一緒に作業をすることにもできました。畝を作るときなどボランティアさんから分かりやすいようにやさしく言葉をかけてもらって嬉しかったことが印象に残っています。また、近畿大学農学部の先生を通して、大和芋の栽培をしたことや地元企業の協力を得て農場に建ててもらったビニールハウスでほうれん草などを栽培したことも貴重な経験となりました。卒業後は、農場関係の仕事はしますが、いろいろな人にやさしくなれるようにしていきたいと思っています。</p>
<p>社会参加していくこと。具体的には将来就労して社会人になるための学習をして集中力をつけること。体力をつけること。仲間と協力すること。自分の役割を意識することができました。</p>
<p>自分たちが作業した品物が幼稚園の子どもたちにとどいてうれしい。また、学校外のいろいろな依頼にこたえていきたいと思った。また、行事の中止などで販売できなかった商品（試作品）を使ってもらえてよかった。幼稚園からもらった感想やアドバイスを活かしてより質の高い商品開発につなげたい。</p>
<p>友達と一緒に落ち葉掃除だったことから、「協力しました。」「がんばりました。」という感想が多く記述されていた。また、「これからも協力します。」との声も聞いた。</p> <p>地域の人と一緒に作業することによってコミュニケーション能力の大切さに気づいたり地域の人から感謝の気持ちを受け充実感を味わうことができた。</p>
<p>コロナ禍の影響で、コンクールや発表会等の機会が全くなく、部員のモチベーションを保つことに困難を感じていた折、地域のショッピングモールで演奏する機会をいただきました。コロナ対策に細心の注意を払い、練習してきたことを一所懸命に披露しました。久しぶりに公の場で演奏できたこと、買い物の足を止めて聴いていただき喜んでいただけたこと、このような機会をいただけたことに部員一同感謝しています。今後は地域の保育園や幼稚園、老人ホーム等で演奏会ができればと考えています。</p>